

出展ゾーン

維持
管理

管路の洗浄・更生・耐震・資源利用まで 多様な技術で“水循環に思いをはせる”

深刻な老朽化が進行し対策が急務となっている多くの下水道管路。東亜グラウト工業は、調査診断から洗浄、更生、耐震化、下水熱利用まで、豊富な工法バリエーションであらゆる維持管理のニーズに対応いたします。

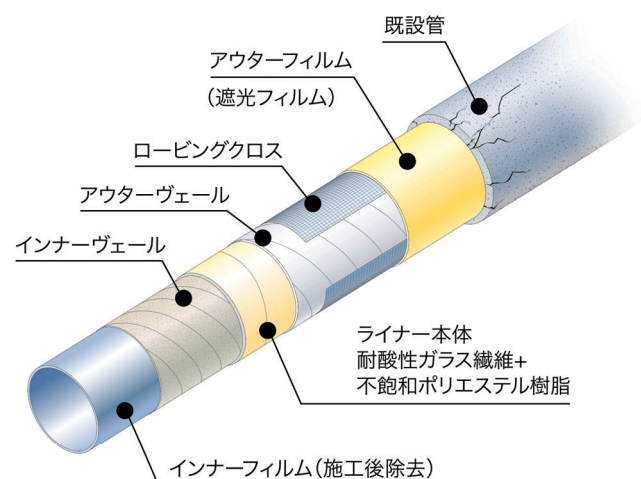
水で圧送管路を洗浄『アイスピグ管内洗浄工法』

管内に挿入した特殊シャベットが管壁のマンガンやバイオフィームなどの汚れを落とし、堆積物を包み込みながら管外へ排出します。従来の洗浄法に比べて詰まり・破損のリスクが小さい、長距離洗浄が可能、作業が短時間ですむ、材料が水と食塩のみで無害なため安全・安心といった特徴があります。



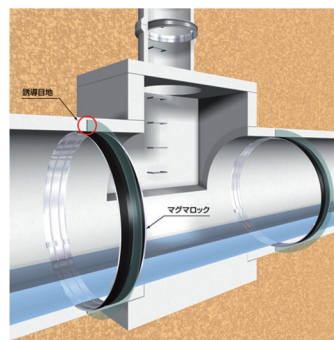
光でスピーディに非開削更生『アルファライナーH工法』

光を照射することで硬化する光硬化性樹脂を使用し、非開削で管路を更生する工法です。材料の選定は1mm単位で行い、無駄のない更生材の選択が可能。更生材に強固なガラス繊維を採用することで、高強度な新しい管を既設管内に構築することができます。



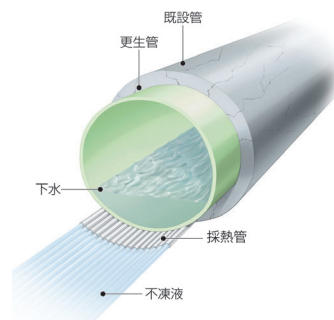
管きょの耐震化『マグマロック工法』

耐震性のない既設管きょを非開削で短時間に耐震化する技術です。既設管きょのマンホール接続部に誘導目地を切削し、ステンレスとゴム製スリーブの耐震リングを設置することで、レベル2地震動に耐えられる構造へ改造します。



管路更生と下水熱利用を同時に実現『ヒートライナー工法』

外気と比べ、温度が常に一定の下水の熱エネルギーを空調・給湯・床暖房・融雪に有効活用化する技術です。老朽管の更生と同時に管底に設置した熱交換チューブ内に不凍液を循環させて施設へと搬送し、熱源として利用します。



循環型社会の実現へ『ルネッサンスシステム』

下水処理場で発生する下水熱や消化ガスから回収したCO₂を活用し、施設周辺に設置したハウスの植物栽培に利用します。植物に適した温度や湿度、CO₂濃度の制御によって、低コストかつ効率的な農業生産を確立させ、循環型社会の実現に貢献します。



当社は2021年に11月8日を「水循環に思いをはせる日」として日本記念日協会に申請&登録しており、関連した一連の活動、また自然災害から人々を守るための当社の「地盤改良事業」「斜面防災事業」「管路メンテナンス事業」の3事業の技術・取り組みが評価されました。

小間番号

■ 札幌ドーム ■

S1-04

【出展者】東亜グラウト工業株式会社／株式会社 TMS 工業

【所在地】〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル

【連絡先】TEL：03-3355-1531 FAX：03-3355-3107

担当部署：管路グループ



東亜グラウト工業HPはこちら→